

## 新幹線地本成田委員長の

# 投稿が新聞に掲載される！

新幹線地本成田委員長の投稿が、1月10日付の『東京新聞』に掲載されました。

会社員 成田 隆浩 56  
(さいたま市大宮区)

### 鉄道網維持の議論を

国鉄が分割民営化され、JRが発足してから今年で三十年になる。旅客会社六社と貨物会社の計七社でスタートしたが、各社の明暗はくっきりと分かれている。

昨年十一月、JR北海道は「単独で維持困難」とする線区を発表した。JR北海道の経営努力がどうだったのかという厳しい目で見がちだが、それだけでいいのだろうか。

営業収支だけを見ると、ローカル線問題は北海道だけの問題とは言えない。実際、自然災害で打撃

### ミラー

### 鉄道網維持の議論を

を受けたローカル線はなかなか復旧されない。東日本大震災の被災線区では、新交通システム「BR T（バス高速輸送システム）」に置き換えられたところもある。

人口減少に歯止めのかからない日本では、このままでは大都市とその近郊しか在来線は残らないのではないかと危ぐする。そして、それは地方の過疎化に拍車をかけるといった悪循環に陥ってしまうのではないだろうか。

東日本大震災の時は東北の線路網を生かし、被害の及んでいな

い、普段は貨物列車の走らない線区を巧みに利用して被災地にガソリンを届けた例もある。鉄道網とは、張り巡らされていることに意味があるのであって、途中が寸断されてしまえばその価値はなくなってしまつのではないか。

JR北海道は、線路などの施設を自治体が保有し、列車運用をJR北海道が受け持つ「上下分離方式」などを検討しているようだが、もっと多様な方法を議論した方がいいと思う。少なくとも、リニア中央新幹線の延伸前倒しのため三兆円融資よりも、優先されるべきではないか。